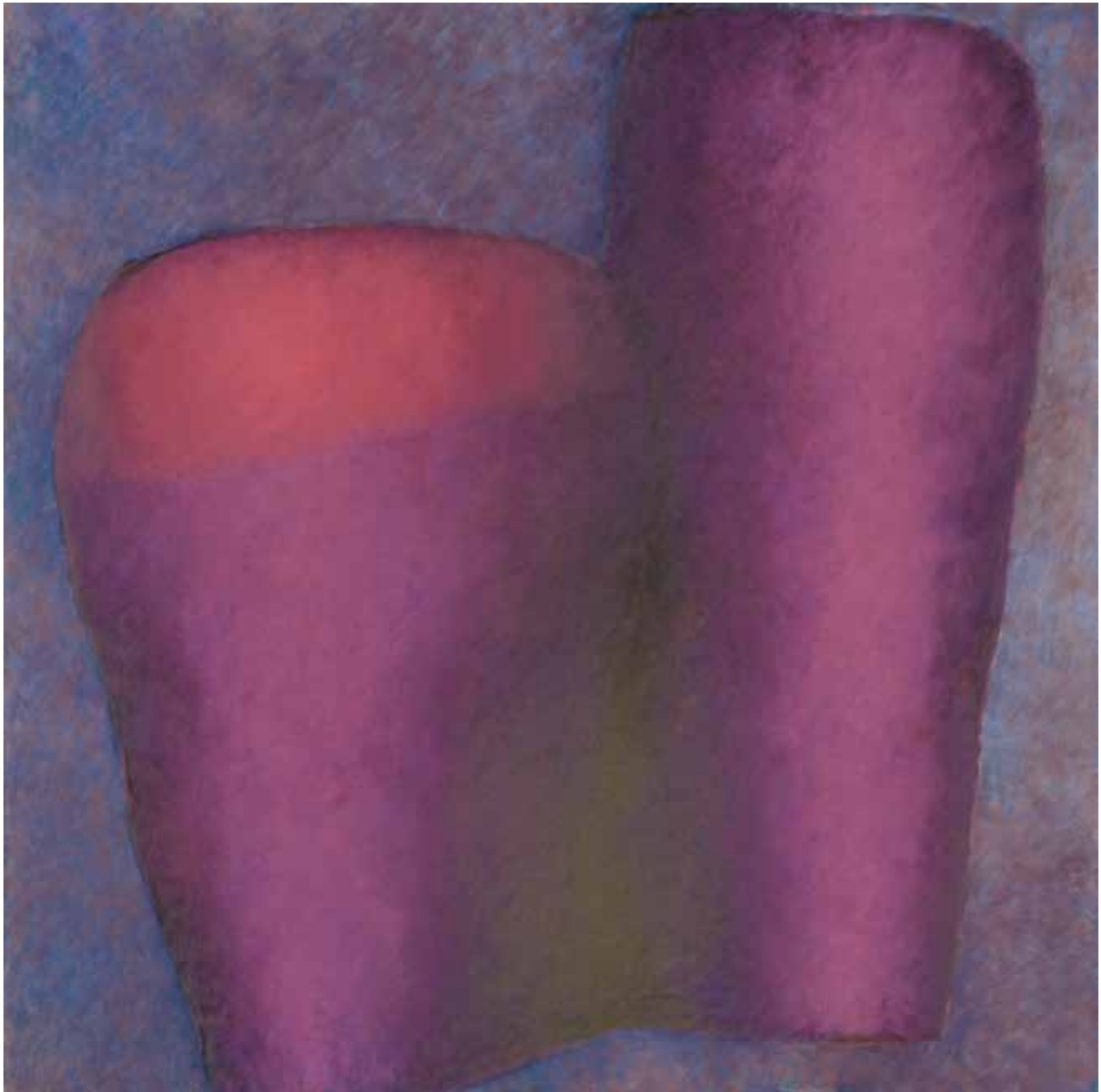


の森
アート

第17号 2016・8

宇都宮美術館
友の会ニユース



©辰野仁造

辰野登恵子 《Jan-18-2001》 2001年 油彩、キャンヴァス 194.0×194.0cm

ふっくらとボリュームを持った二つのかたちが、くっつき合っているような、寄り添っているような、ちょっとユーモラスな作品。背景は色彩の微妙な重なり合いが、空気のように二つのかたちを包んでいます。作者の辰野登恵子は、絵画でしか表現することのできない世界を作品に描き続けた、日本の現代絵画を代表する作家の一人です。もともと平面でしかないキャンヴァスに、まるで手で触れられるかのようなボリュームを持ったかたちを作り出すことも、それを深く美しい色彩で空気のように包むことも、一筆、一筆、描いていくことでしかできません。絵画の世界にしか生まれないものたちなのです。辰野の作品には、いつもそんなものたちが、いきいきと姿を現しています。

(主任学芸員 福島文靖)

宇都宮美術館講義室において、平成28年度宇都宮美術館友の会定期総会を開催致しました。会長挨拶・来賓挨拶のあと議事に移り、平成27年度事業報告・決算報告及び28年度事業計画・事業予算についての各議案が承認されました。続いて谷館長の記念講演があり、4月「ガレの庭」、6月「第37回宇都宮市民芸術祭」、9月「スター・ウォーズ展」、1月「石の街うつのみや」展等、当館ならではの魅力満載の展覧会が続くとの紹介がありました。その後、第16回U-moaコンサート『colors with Tric-azure』の皆さんの歌声に魅了され、パーカッションとピアノの独奏もありました。又、当日は熊本地震の救援募金をお願いし、多くのご協力を頂き有難うございました。
(菅野明子)

平成28年度事業計画

実施月日	事業内容	担当部
平成28年		
5月 5日	子どもフェスタin文化の森2016	共催
5月21日	平成28年度定期総会	総務部
6月 7日	春の美術館めぐり(日帰り・長野方面)	事業部
8月 6日	美術講演会	発見部
8月19日	会報「アート of the 森」第17号発行	広報部
9月24日	U-moaコンサート	総務部
9月～12月	作家紹介(友の会ボード)	発見部
11月	秋の美術館めぐり(一泊旅行)	事業部
平成29年		
2月	賛助法人懇談会	総務部
3月	会報「アート of the 森」第18号発行	広報部

大谷石の来し方と行方③

大谷石と「西洋近代」の出会いは、フランク・ロイド・ライトによる旧・帝国ホテル ライト館(竣工1923年)を始まりとするのが定説である。だが、「西洋」だけに注視してみると、ライト以前にも事例が見られ、日本キリスト教団 安藤記念教会(1917年、設計=吉武長一)、同教団 安中教会(1918年、設計=古林柳太郎)は、今なお当時の建物が残されている。ちなみに両者は、構法・意匠ともに「西洋中世」(歴史建築)を大谷石で実現——構造的には石積みで、建築様式はゴシック(前者)とロマネスク(後者)を標榜する。

ひるがえって宇都宮には、ライト以降の二つの教会、すなわちカトリック松が峰教会(1932年、設計=マックス・ヒンデル)、日本聖公会宇都宮聖ヨハネ教会(1933年、設計=上林敬吉)が現存。興味深いことに、これらは構法が近代の鉄筋コンクリート大谷石張り、一方、意匠は中世のロマネスク(松が峰教会)とゴシック(聖ヨハネ教会)の精髓を、異なる石の使い方で見事に示している。「松が峰」の場合、立体的で精緻な彫刻には不向きな大谷石を用いながら、ロマネスクを特徴づける建築装飾を丁寧に刻み、これを中世らしい大伽藍、二つの高い塔屋に設置した。この様式・規模の建物は、力学的にも大谷石では困難なところ、それを鉄筋コンクリートで解消した点に留意されたい。「聖ヨハネ」もま

会 長：青木紀一郎
 副 会 長：甘利知子 川上光枝 渡辺勝己
 監 事：石田毅 柴田紀恵
 総務部長：松林慎二 副部長：菅野明子 河合正
 事業部長：石塚豊 副部長：鈴木照子
 広報部長：水垣俊子 副部長：阿部エツ子
 発見部長：亀井研一 副部長：小林和子



(左)カトリック松が峰教会(右)日本聖公会宇都宮聖ヨハネ教会

た、「松が峰」に比べてこそ規模が小さいが、積み上げた石壁の荘厳さ、装飾を排した質感で歴史建築の奥義を訴求するには、近代構法と組み合わせずしては不可能だった。——どちらも日本では希少な「石による正統派の中世」を実見できる、わが街の「近代の文化遺産」として良いだろう。
(主任学芸員 橋本優子)

学芸員室から

美術館の頼もしい大黒柱、学芸員をより近くにより親しみを感じてもらうために順次エッセイをお願いしました。

だれも知らない時間に起きたことを言祝ぐこと ——「パウル・クレー だれにも ないしょ。」展余滴

去年の6月のことは、ほとんど覚えていません。ともあれ7月にぶじ、クレー展を立ち上げることはできました。本当に申し訳ないことに、オープン直前、周りじゅうにかけてしまった迷惑がどんなものだったかも、ちゃんと覚えていないのです。家に帰れない日々が続いていました。唯一、よく覚えているのは、そんなある日の夜中、美術館の廊下を歩いていたら、靴の底がとつぜん抜けてしまったことです。ちょうど寿命だったのでしょう。右足の靴底の、後ろ半分だけが剥がれてしまい、一歩すすむたびに、ペタン、ペタン、と、笑ってしまうような空ろな響きを立てます。その「ボロボロになっ

ている感じ」にひとり陶醉する自分がいました。クレー展の図録に書いた拙文は、おかげさまで、美術館連絡協議会の「カタログ論文賞」を受賞しました。時間の観念を放擲しひとつの世界の奥へ奥へと潜って行ってそこから貴重な石のようなものを拾い上げてきたいという我儘で迷惑な、つまるところ自己満足とも切り離せない営為の産物を、しかし誰かが見ていてくださる。それはこのうえなく励みになることです。見守り協力してくださった方々に感謝するとともに、あのとき、人知れず使命を終えた靴が自分を鼓舞してくれたような仕方で、誰かを祝福する仕事をしていきたいと思っています。

(主任学芸員 石川 潤)

市制施行120周年記念 子どもフェスタin文化の森2016 5月5日

宇都宮美術館・宇都宮美術館友の会・豊かな郷づくり推進協議会

5月5日、五月晴れの下、うつのみや文化の森に於いて「子どもフェスタin文化の森2016」が開催されました。子どもの日に相応しく、豊郷地区子どもお囃子会の和太鼓でオープンし、豊郷中吹奏楽部 & 宇都宮市消防音楽隊の演奏とフラダンス、バイオリン演奏等が緑の芝生や特設ステージで行われました。緑の広場には、風船アートや探検・絵画・工作・おはなしの森等があり、いっぱい遊んだ後の空腹は様々なグルメが大いに満たしてくれました。朝は大きなお腹で緑の広場を泳いでいた数匹の鯉も、夕方には子ども達と遊び過ぎたのか、すっかりスマートな鯉に変身していました。

(菅野明子)



苧環 (おだまき)

去る6月7日、78名の参加者を乗せたバスは小雨の中、東北道・北関東道・上信越道を経由し小諸へ。信州の高原地帯の素晴らしさを堪能したころは晴天になっていた。上田城跡公園では、NHK大河ドラマ「真田丸」の制作過程等を詳細に見る事が出来た。昼食は苺の生産状況等を見学後、苺料理に舌鼓を打ち、その後無言館と信濃デッサン館へ。太平洋戦争で散った画学生の作品が涙を誘いました。20歳前後の学徒が国策で尊い命を無駄にし、無残にも若き学徒がやむなく死を迎えた事は恐ろしいあの静寂の中で、本当に涙を抑える事が難しいほどでした。最後の佐久市立近代美術館では、池田満寿夫の陶壁画に圧倒され平山郁夫・片岡球子・東山魁夷等の作品があり、美術館の迫力が感じられた。心に残る一日の旅でした。

(名取喜久雄)



H27年度賛助法人との懇談会をH28・2・18美術館レストランで開催し、賛助法人10社14名の参加者がありました。谷館長・青木会長の挨拶が有り、参加者の皆様の友の会の活動についての希望、美術館の利用状況、展示作品の希望等活発な意見が有りました。賛助法人の社員・ご家族の皆様が芸術に関心を持って、宇都宮美術館のファンに成って頂ける様お願いし有意義な懇談会となりました。

(渡辺勝己)

会員加入状況

2016年7月13日現在 単位：人

一般会員	ペア会員	賛助個人会員	賛助法人会員	合計
302	123	29	26(口)	480

賛助法人会員

(株)西邑画廊 (株)三向地所 (株)トーホー・北関東 (株)田村緑知苑
 (株)酒井建築設計事務所 中央電機通信(株) 環境整備(株) 栃木実業(株)
 栃の木地所(株) 晋豊建設(株) 東亜警備保障(株) (有)マルワガラス
 (株)スズテック (株)穴吹工務店宇都宮サーパス会 (株)ケイエムシー
 三信電工(株) 栃木トヨタ自動車(株) イートランド(株)
 ランスタッド(株)宇都宮オフィス 磯部建設株式会社 (学)宇都宮美術学院
 (医)北斗会 宇都宮東病院 (株)栃木銀行 宮ビルサービス(株) (入会順)



日光黄菅 (にっこうきすげ)

企画展のご案内

- ☆ 第11回・宇都宮エスペール賞
クワクポリョウタ展—見ることを見る 7月31日(日)～9月4日(日)
- ☆ 宇都宮美術館コレクション展 特集展示
辰野登恵子 愛でられた抽象 7月31日(日)～9月4日(日)
- ☆ スター・ウォーズ展
未来へつづく、創造のビジョン。 9月18日(日)～11月27日(日)
- ☆ 宇都宮美術館開館20周年・市制施行120周年記念
石の街うつのみや—大谷石をめぐる近代建築と地域文化
平成29年1月8日(日)～3月5日(日)
- ☆ 宇都宮美術館開館20周年記念
ベルギー・フランドル幻想の系譜 3月19日(日)～5月7日(日)

お知らせ コレクション展ギャラリー・トーク

一作品と対話してみませんかー
毎週火～木曜・日曜日・祝日 午後2時 「作品解説倶楽部」

編集ノート

白山法師の花が咲いて、六月「アートの森」17号の編集を開始。作業の大変さはあっても、和気あいあいいつものメンバーは、ベテラン揃いで私には楽しい美術館行きの日々。五月に美術館連絡協議会の「カタログ論文賞」を受賞された石川主任学芸員さんは、快くその喜びを書いてくださった。こうして寄稿への感謝いっばいに17号は仕上がりました。

(阿部エツ子)

<アートの森> 第17号 (通巻40号)

発行日 2016年8月19日
 発行 宇都宮美術館友の会(宇都宮美術館内)
 〒320-0004 宇都宮市長岡町1077
 ☎028-643-0100